

令和4年度WEB媒体を利用した禁煙対策事業
「タバコに関するWEBアンケート」
実施結果報告書

令和4年11月
全国健康保険協会宮城支部
企画総務グループ

1. アンケートの目的

協会けんぽ宮城支部加入者の喫煙習慣がある者の割合は、男性は全国ワースト4位、女性は全国ワースト6位である(2020年度スコアリングレポート)。

こうした状況を踏まえ、令和3年度に実施した「禁煙勧奨通知」対象者に対し、「禁煙勧奨通知」のリーフレットの内容を踏まえたアンケートを実施し、タバコの影響に対する理解度を把握するとともに、健康リテラシー向上や禁煙に向けた行動変容を促す。

2. アンケート方法

令和4年9月20日に「禁煙勧奨通知」対象者11,596名にアンケート依頼文書を郵送。アンケート依頼文書には二次元コードを掲載し、スマートフォン等からWEB上でアンケートに回答いただく。

3. アンケート期間

令和4年9月20日～令和4年10月5日。

4.アンケート対象・回答状況

(1)対象

令和3年9月から10月にかけて郵送した「禁煙勧奨通知」対象者：11,596名

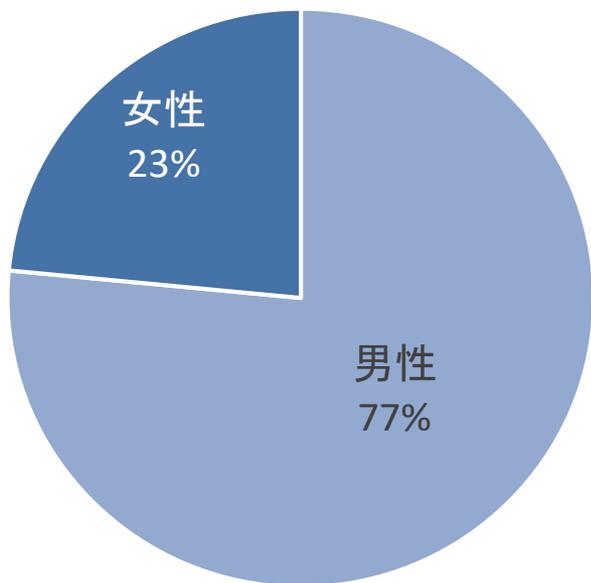
※令和3年度「禁煙勧奨通知」対象者（健康づくり宣言事業所に務めている喫煙者）12,757人のうち資格喪失者及び通知未着者を除いた方

(2)回答数・回答率

回答数：626件 回答率：5%（626/11596）

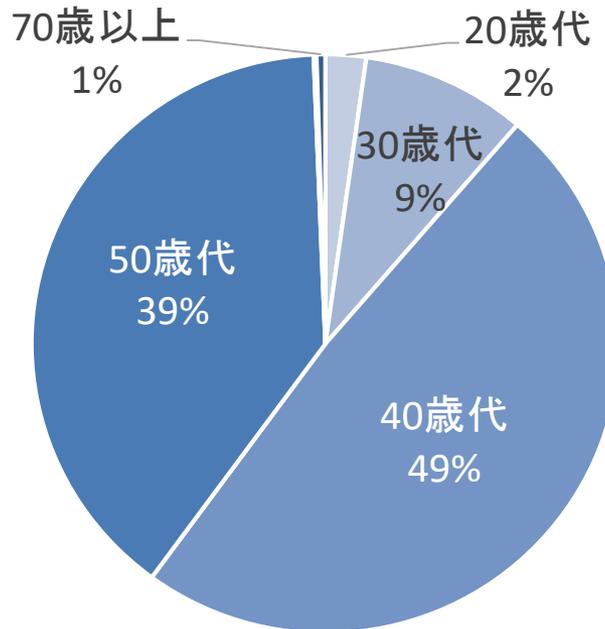
※1万人規模のアンケートを実施する場合に必要なとされる回答数（サンプル数）は約400人とされているため（許容誤差5%）、当該アンケート結果は、サンプル数の側面から信憑性のあるデータと認められます。

(性別)



男性	女性
479	147
77%	23%

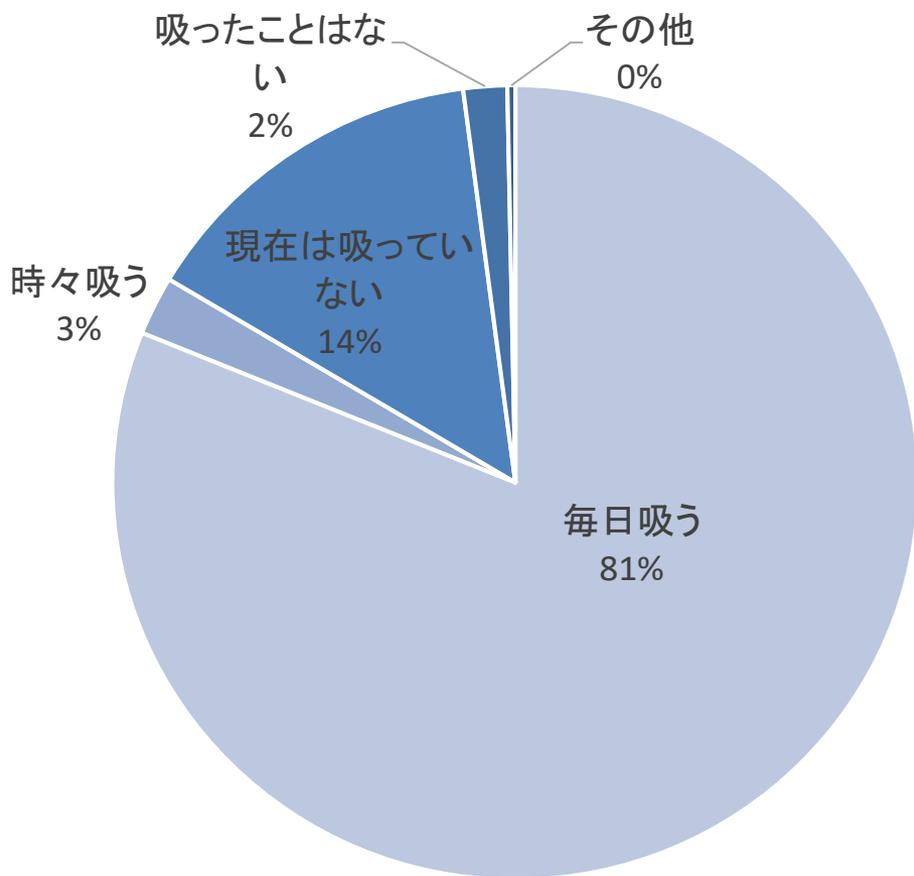
(年齢層)



20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
14	57	305	246	1	3
2%	9%	49%	39%	0%	0%

5.各設問の回答

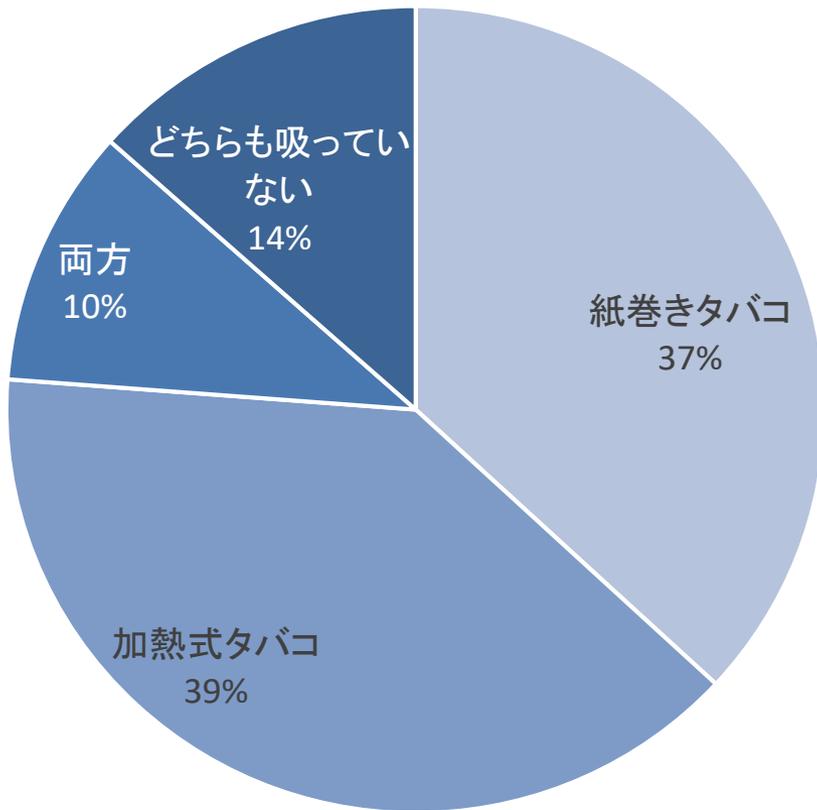
①あなたはタバコ(加熱式タバコを含む)を吸いますか？



・「毎日吸う」という回答が81%、
「現在は吸っていない」という回答が14%。

毎日吸う	時々吸う	現在は吸っていない	吸ったことはない	その他
508	15	90	11	2
81%	2%	14%	2%	0%

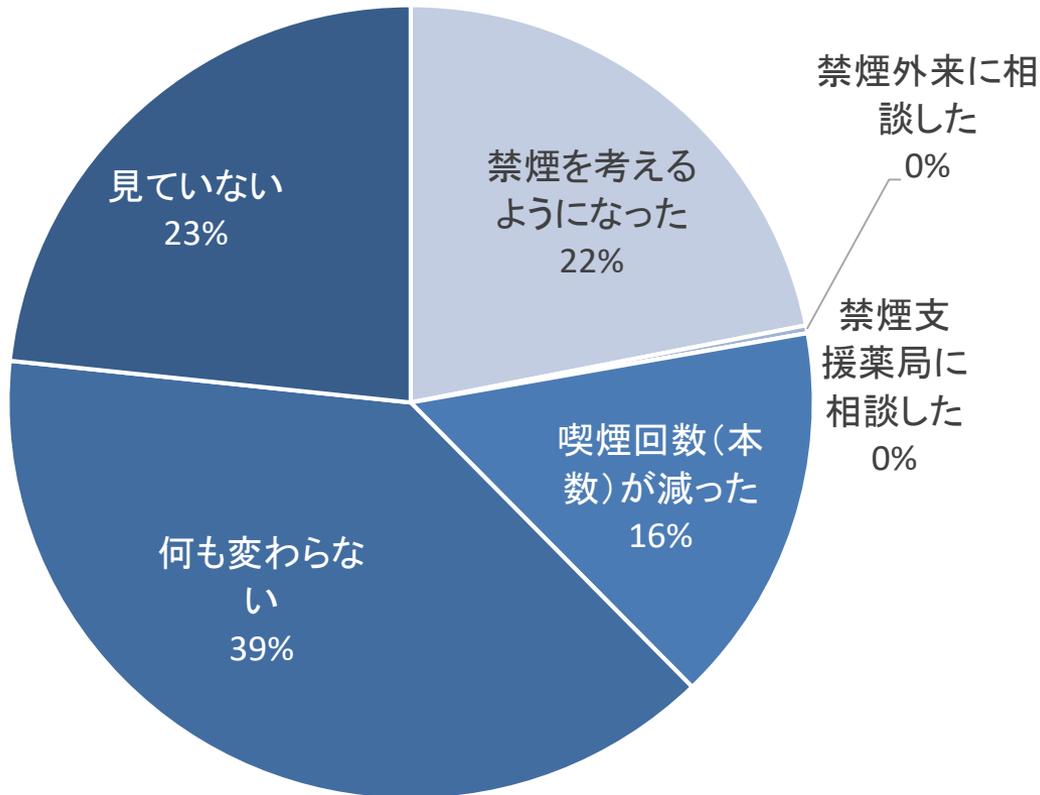
②あなたは紙巻きタバコと加熱式タバコどちらを吸っていますか？



・「紙巻きタバコ」と「加熱式タバコ」の割合が同程度であり、「加熱式タバコ」を吸っている方が増えていることが推測できる。

紙巻きタバコ	加熱式タバコ	両方	どちらも吸っていない
231	246	65	84
37%	39%	10%	13%

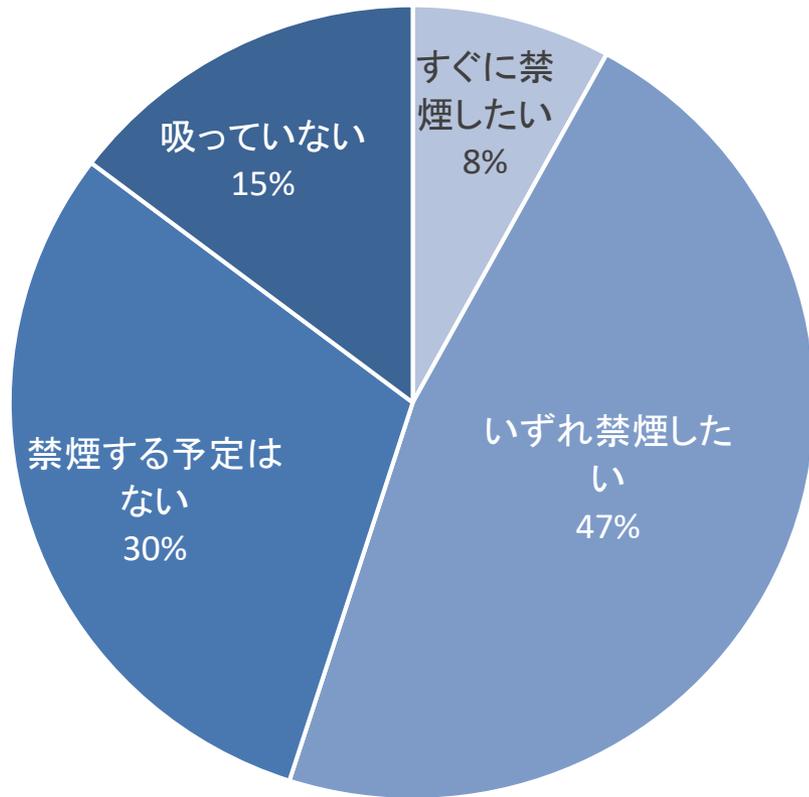
③昨年の秋に郵送いたしました「禁煙勧奨通知」をご覧いただき変わったことはありますか？



・「禁煙を考えるようになった」が22%、「喫煙回数が減った」が16%となり、「禁煙勧奨通知」に一定の効果があつたことが分かった。

禁煙を考えるようになった	禁煙外来に相談した	禁煙支援薬局に相談した	喫煙回数(本数)が減った	何も変わらない	見ていない
137	2	0	97	244	146
22%	0%	0%	15%	39%	23%

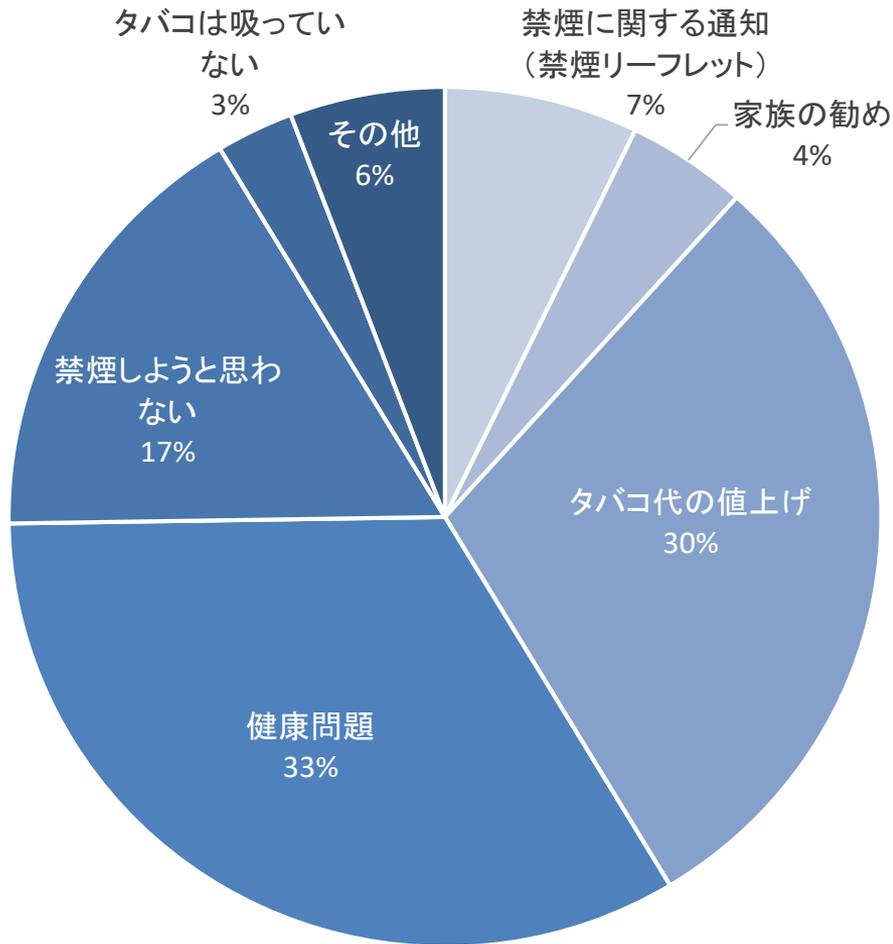
④禁煙しようと思いますか？



・「すぐに禁煙したい」「いつれ禁煙したい」と回答した方が半数を超えており、禁煙意識を持っている人が多くいることが分かった。

すぐに禁煙したい	いつれ禁煙したい	禁煙する予定はない	吸っていない
50	294	190	92
8%	47%	30%	15%

⑤禁煙を考える一番のきっかけはなんですか？

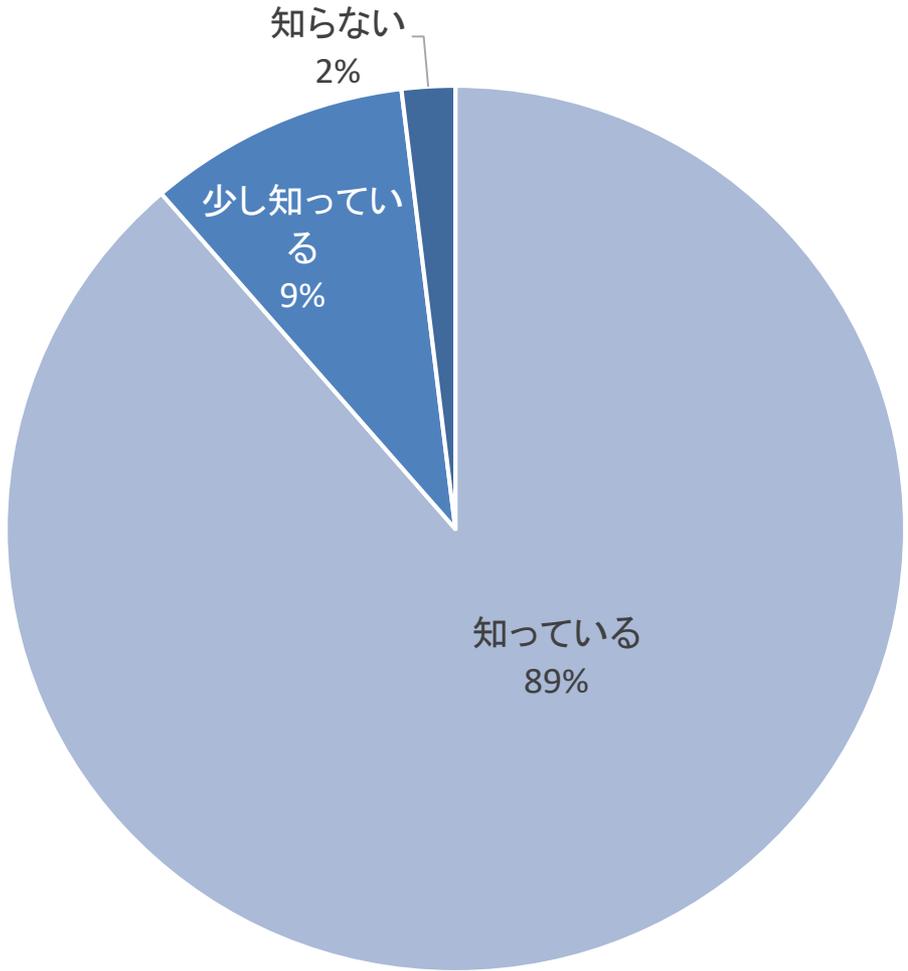


・「健康問題」という回答が33%、
「タバコ代の値上げ」という回答が
30%。

そのため、禁煙を考えるきっかけとなる「タバコ代の値上げ」のタイミングである令和3年9月に「禁煙勧奨通知」を送付したことは効果的であったことが分かった。

禁煙に関する通知 (禁煙リーフレット)	家族の勧め	タバコ代の値上げ	健康問題	禁煙しようと思わない	タバコは吸っていない	その他
45	28	186	209	104	18	36
7%	4%	30%	33%	17%	3%	6%

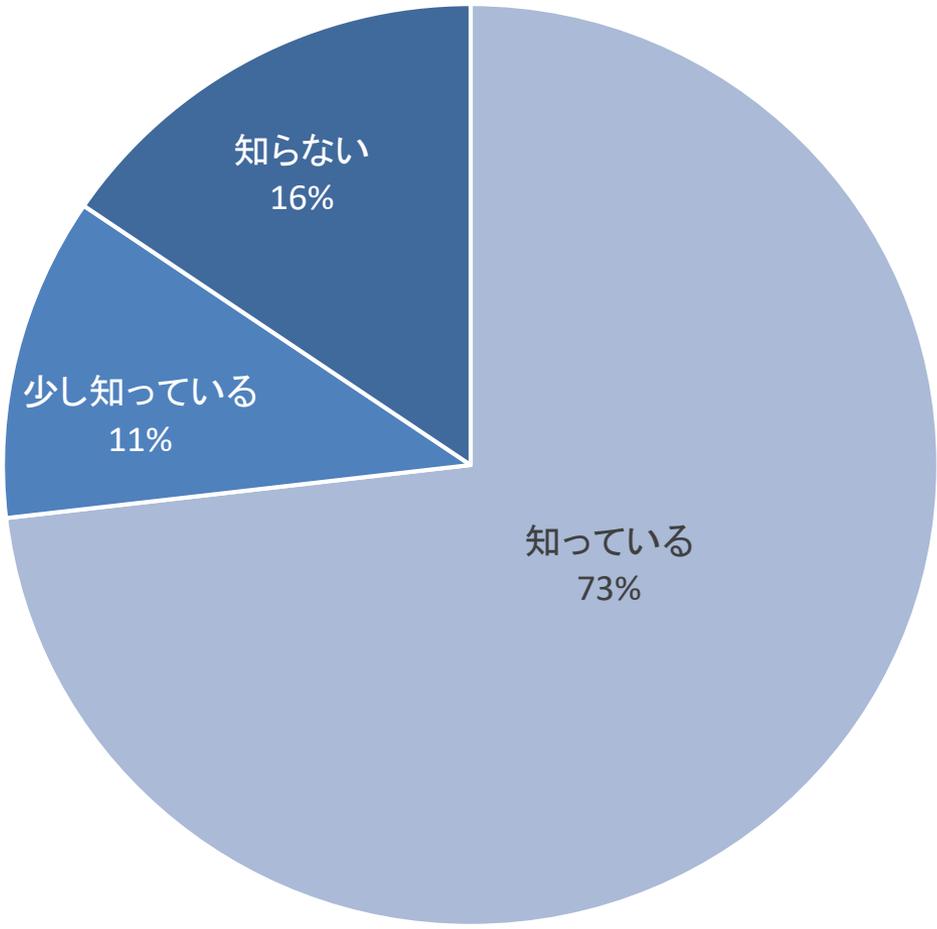
⑥タバコは多くの病気を引き起こし、糖尿病、心筋梗塞や脳卒中といった病気にも関連することを知っていますか？



・89%が「知っている」と回答。
タバコは多くの病気を引き起こすことについては、十分周知が図られていることが分かった。

知っている	少し知っている	知らない
555	59	12
89%	9%	2%

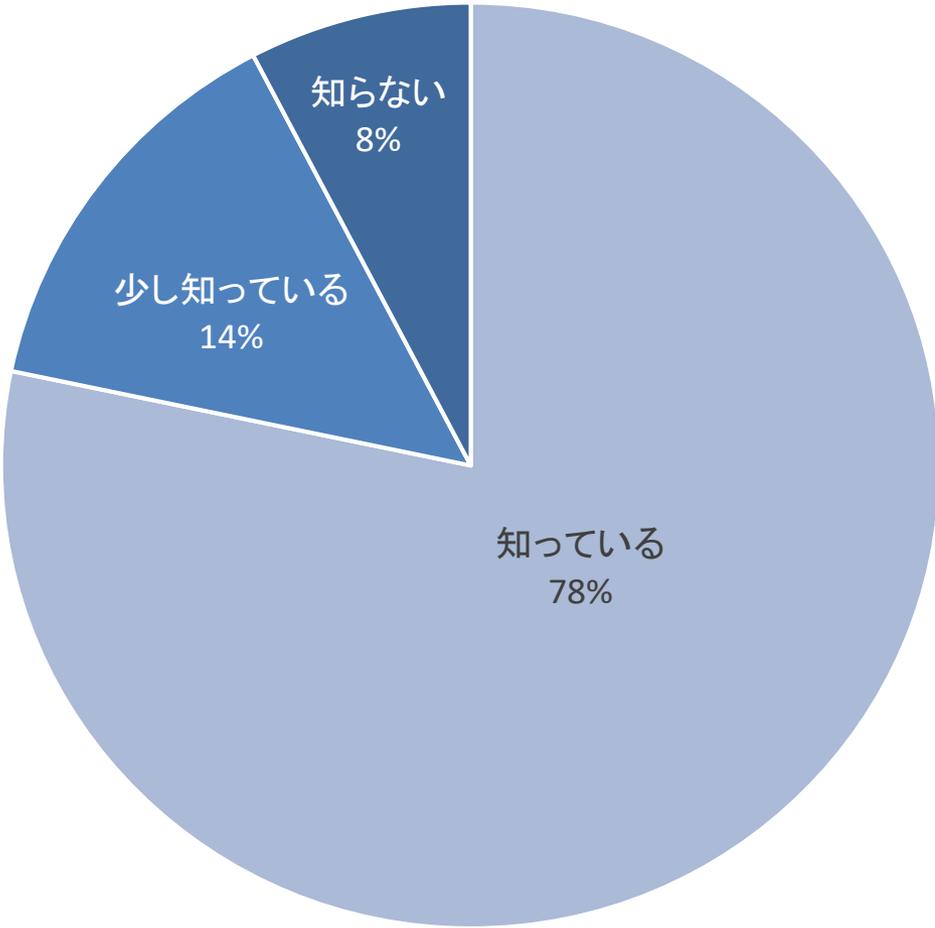
⑦タバコは糖尿病治療の妨げだけではなく、糖尿病合併症の腎症のリスクになったりすることを知っていますか？



・73%が「知っている」と回答。
タバコは糖尿病治療の妨げだけではなく、糖尿病合併症の腎症のリスクになることについては、ある程度周知が図られていることが分かった。

知っている	少し知っている	知らない
458	71	97
73%	11%	15%

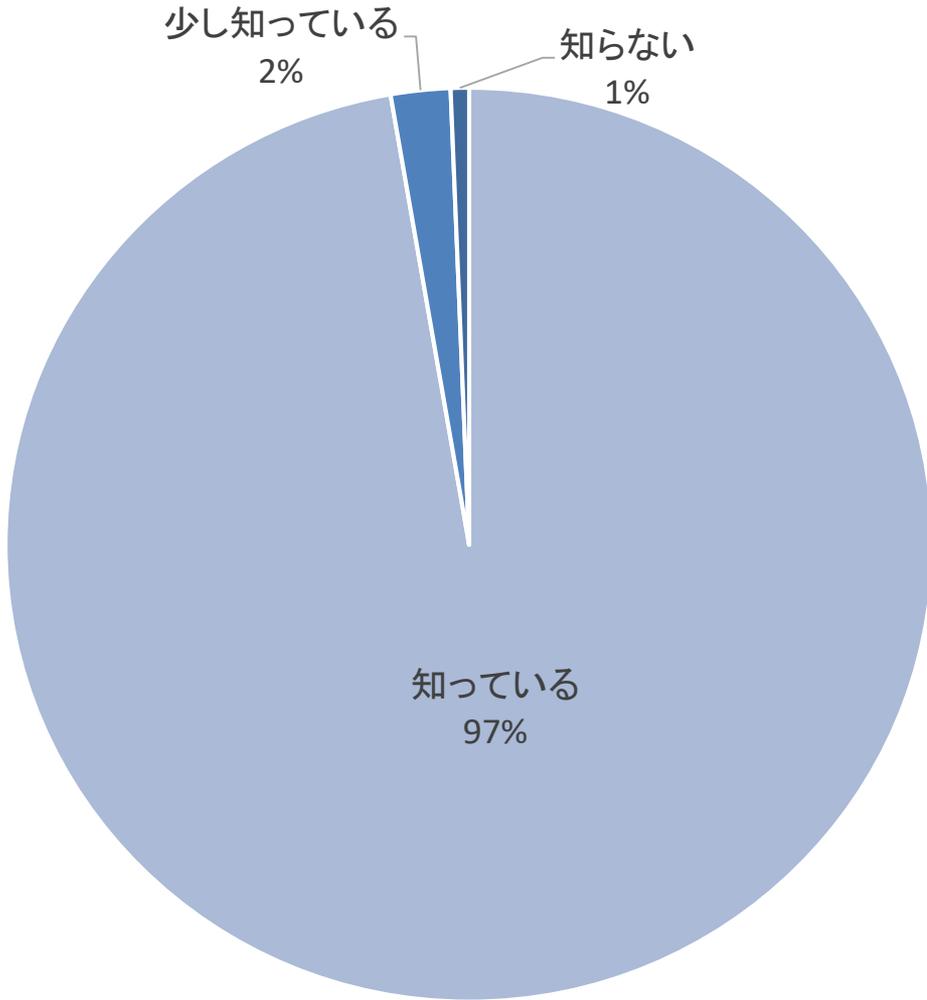
⑧タバコを吸う人は吸わない人よりも老化が早まり平均で10年程寿命が短くなることを知っていますか？



・78%が「知っている」と回答。
タバコで寿命が短くなることについては、ある程度周知が図られていることが分かった。

知っている	少し知っている	知らない
490	88	48
78%	14%	8%

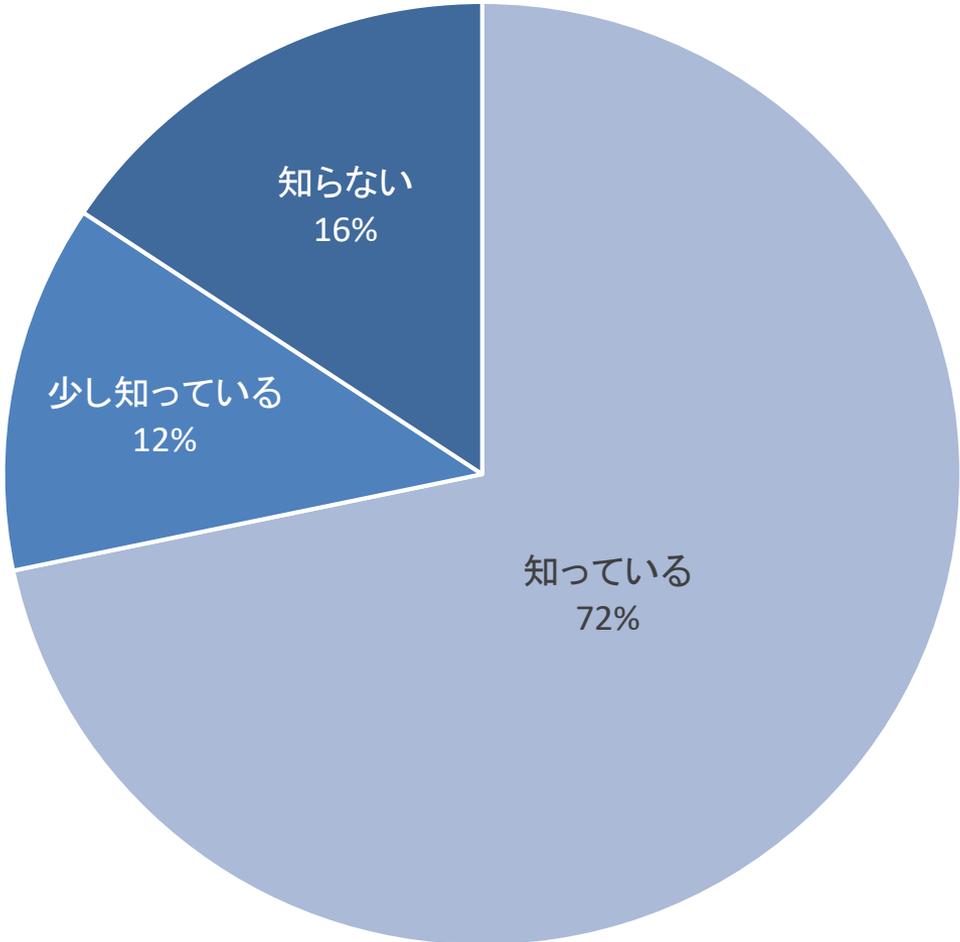
⑨タバコは喫煙者自身だけでなく周りの人にも悪影響(受動喫煙の健康被害)があることを知っていますか？



・97%が「知っている」と回答。
タバコが周りの人にも悪影響を与えているについては、十分周知が図られていることが分かった。

知っている	少し知っている	知らない
609	13	4
97%	2%	1%

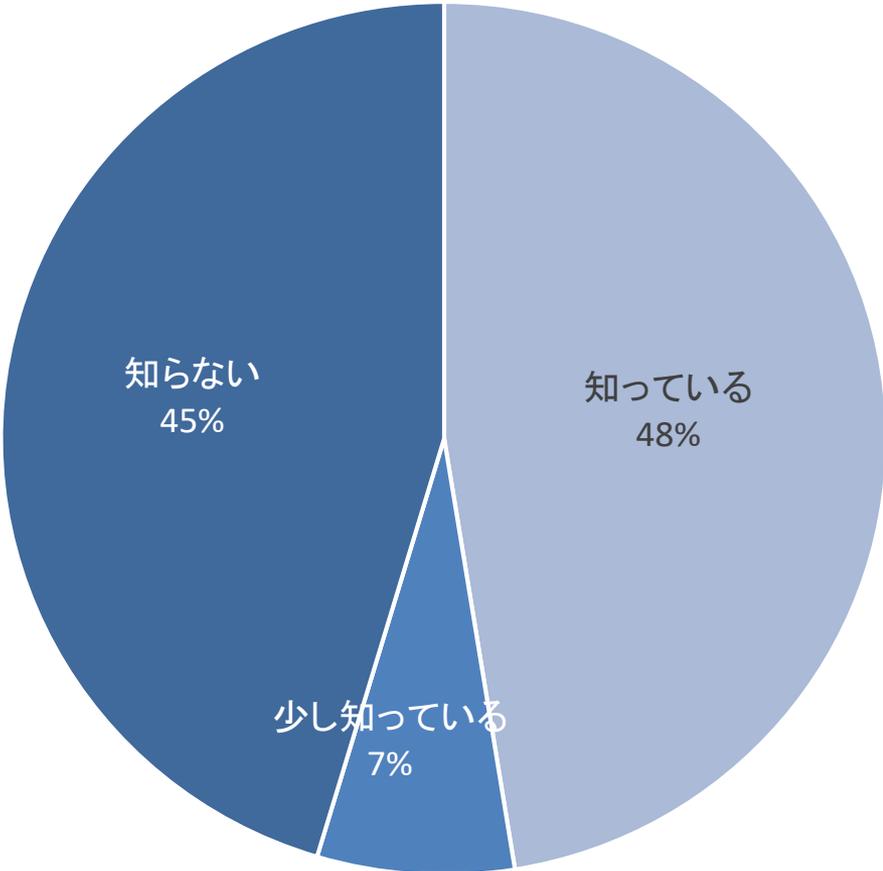
⑩換気扇の下やベランダで喫煙しても、煙は微粒子のため受動喫煙を防ぐことができないことを知っていますか？



・72%が「知っている」と回答。
換気扇の下やベランダで喫煙しても受動喫煙を防ぐことができないことについては、ある程度周知が図られていることが分かった。

知っている	少し知っている	知らない
449	79	98
72%	13%	16%

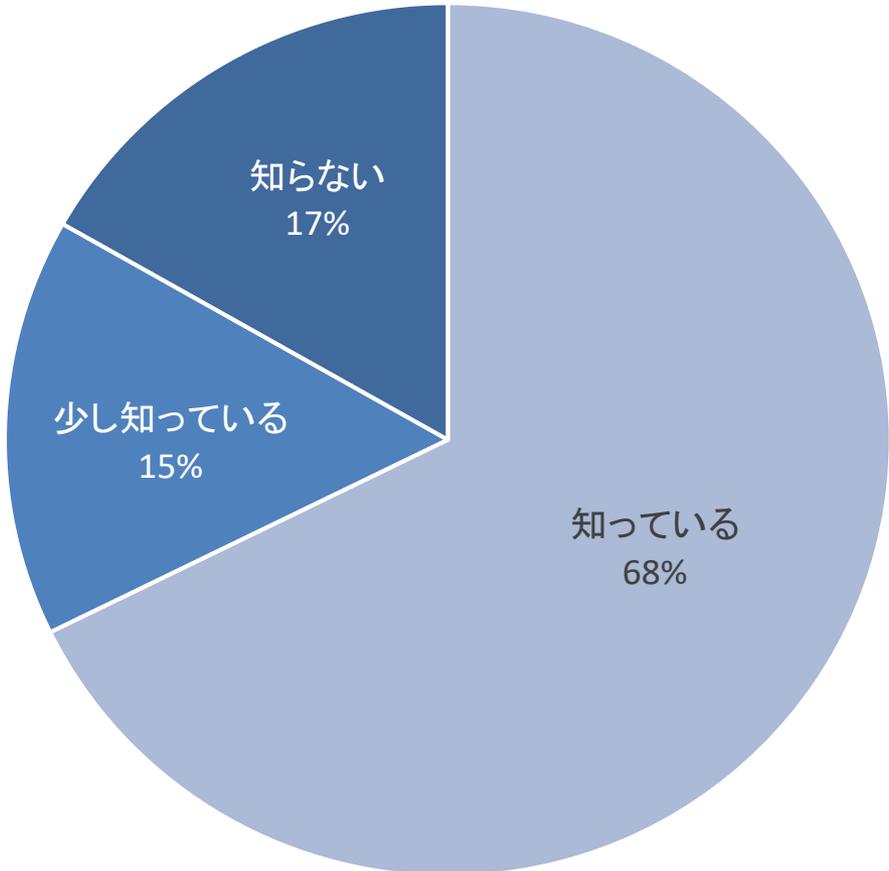
⑪衣類や室内に付着したタバコ成分が、後に浮遊して起こるサードハンドスモークの害を知っていますか？



・45%が「知らない」と回答。
サードハンドスモークについては、他の項目に比べて周知が図られていないことが分かった。

知っている	少し知っている	知らない
297	45	284
47%	7%	45%

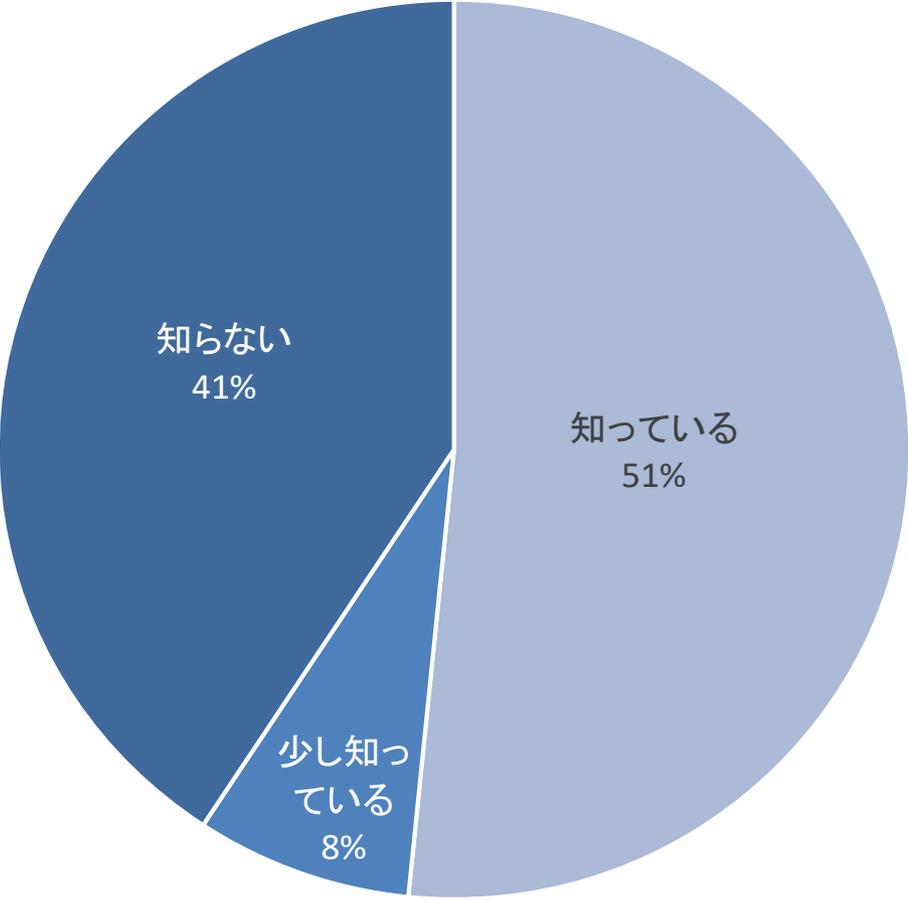
⑫加熱式タバコであっても本人の健康被害だけでなく周囲の人への健康被害が発生することを知っていますか？



・68%が「知っている」と回答。
加熱式タバコであっても健康被害が発生することについては、ある程度周知が図られていることが分かった。

知っている	少し知っている	知らない
424	97	105
68%	15%	17%

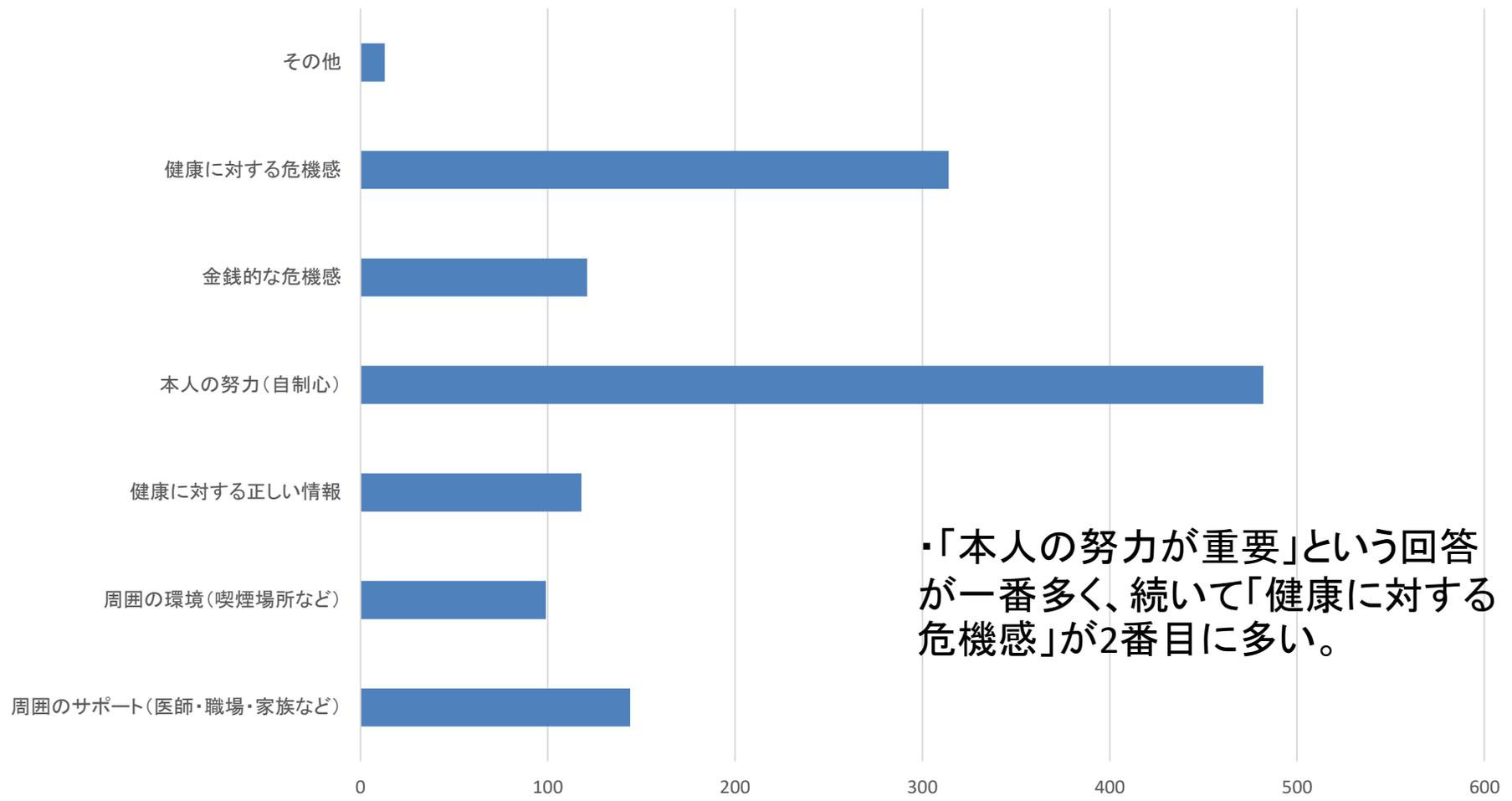
⑬一定の条件を満たすと禁煙治療に健康保険を使用できることを知っていますか？



・41%が「知らない」と回答。
禁煙治療の保険適用については、
他の項目に比べて周知が図られていないことが分かった。

知っている	少し知っている	知らない
323	48	255
52%	8%	41%

⑭禁煙を考えている人が、禁煙を成功させるために重要なことは何だと思いますか？（複数回答可）



・「本人の努力が重要」という回答が一番多く、続いて「健康に対する危機感」が2番目に多い。

周囲のサポート（医師・職場・家族など）	周囲の環境（喫煙場所など）	健康に対する正しい情報	本人の努力（自制心）	金銭的な危機感	健康に対する危機感	その他
144	99	118	482	121	314	13

6. 考察

- ・タバコは「現在は吸っていない」という回答が14% (90人) あった。
(アンケート対象者が、令和2年度の間診で“習慣的に喫煙している”と回答した方であるため、今回「現在は吸っていない」と回答した一定数の方は禁煙を実施したものと推測できる。)
- ・「禁煙勧奨通知」を見て、「禁煙を考えるようになった」と回答した方が22%、「喫煙回数が減った」と回答した方が16%いたため、令和3年度に実施した「禁煙勧奨通知」に一定の効果があったことが分かった。
- ・「すぐに禁煙したい」「いずれ禁煙したい」と回答した方を合わせると半数を超えており、禁煙したいと考えている方が多くいることが分かった。
- ・禁煙を考えるきっかけとして「タバコ代の値上げ」という回答した方が30%おり、増税前後に送付した「禁煙勧奨通知」は効果的なタイミングで情報提供できたことが分かった。
- ・「サードHANDSモーク」と「禁煙外来の保険適用」の理解度が低かったが、糖尿病、心筋梗塞や脳卒中などの身体的な疾病に関するタバコの害については、ある程度理解されていることが分かった。

以上より、「禁煙勧奨通知」が禁煙への意識変化や行動変容につながったことが示唆されたため、「タバコ代の値上げ」などの禁煙のきっかけとなるタイミングを見極め、引き続き「禁煙勧奨通知」などを通じたタバコに関する情報提供や受動喫煙防止宣言施設登録事業所の拡大などの受動喫煙防止に向けた環境整備が重要であると考えます。特に、アンケートの個別意見も踏まえ、以下の①～⑤の点については、重点的に周知の必要があると考えます。

- ① 「サードHANDSモーク」や「禁煙外来の保険適用」への理解
- ② 精神的なデメリット(脳の働きの低下、精神疾患になりやすいなど)への理解
- ③ 喫煙室をつくれれば受動喫煙が防げるといった誤った理解の是正
- ④ 加熱式タバコを電子タバコと認識しているなど加熱式タバコの誤った理解の是正
- ⑤ タバコがストレス解消につながるという誤った理解の是正

また、今後、アンケート未回答者も含めた喫煙状況を把握するため通知対象者全員の令和4年度の健診結果を確認したい。